

第130期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

健康って、おいしい。

MEIJI
明治乳業



自然の無限のちからを



明治乳業のやわらかな発想で



未来のチカラへ変えます

自然のちからを、未来のチカラへ。

株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、企業収益や設備投資に底堅さは見られたものの、個人消費につきましては、所得の伸び悩みや税・社会保険料の負担増、年金問題などの将来不安を背景に依然として低迷しており、本格的な回復には至りませんでした。

食品業界におきましては、世界規模での食料需要の増大、穀物のバイオ燃料用途への拡大など、国際的な需給バランスの悪化による原材料価格の高騰が企業経営に大きな影響を及ぼしております。

乳業界におきましては、業界を挙げて飲用牛乳や乳製品の消費拡大に取り組みましたが、市場環境に改善の兆し

が見られず、飲用牛乳の消費は引き続き低調に推移しました。

このような状況下、明治乳業グループでは、ヨーグルトをはじめとした既存優位事業やチーズ、流動食などの成長事業への経営資源の積極投入、徹底したコスト削減、グループ経営効率の追求などに注力してまいりました。

当上半期における明治乳業グループの売上高は、前年同期比0.3%減の3,652億5千8百万円となりました。利益面では、原材料価格の高騰などにより、営業利益は前年同期比21.1%減の126億2千1百万円、経常利益は前年同期比20.7%減の126億9千6百万円、中間純利益は前年同期比22.9%減の78億7千7百万円となりました。

当上半期の事業別の概況は次の通りであります。

食品事業につきましては、売上高は、当社におきまして「明治おいしい牛乳」などの売上増はあったものの、ヨーグルトなどの売上が前年同期実績を下回ったことなどにより、前年同期比0.7%減の3,124億9千5百万円、営業利益は、前年同期比22.7%減の111億1千3百万円となりました。

サービス・その他事業につきましては、売上高は、飼料事業の売上が前年同期実績を上回ったことなどにより、前年同期比2.9%増の763億6千1百万円、営業利益は、前年同期比2.6%増の16億2千5百万円となりました。

また、当上半期における当社の売上高は、前年同期比1.1%減の2,500億4千3百万円となり、経常利益は、原材料価格の高騰などにより前年同期比23.5%減の97億1千9百万円となりました。

業績の比較（連結）

区 分	第130期上半期 (平成19年4月～9月)	第129期上半期 (平成18年4月～9月)	第129期 (平成18年4月～平成19年3月)
売 上 高 (百万円)	365,258	366,299	702,750
経 常 利 益 (百万円)	12,696	16,007	23,421
中 間 (当 期) 純 利 益 (百万円)	7,877	10,218	13,708
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	23.97	32.77	42.81
総 資 産 (百万円)	404,996	395,792	383,560
純 資 産 (百万円)	149,899	144,427	146,044
1株当たり純資産 (円)	449.13	432.21	437.45

当社の部門別の売上高の概要は次の通りであります。

市乳部門は、「明治おいしい牛乳」、「明治プロビオヨーグルトLG21」は堅調に推移しましたが、「明治ブルガリアヨーグルト」シリーズの売上が前年同期実績を下回ったことなどにより、前年同期比2.3%減の1,482億8千2百万円となりました。

乳製品部門におきましては、チーズ、バターが堅調に推移したことにより、前年同期比1.5%増の330億5千1百万円となりました。

アイスクリーム部門は、「明治エッセルスーパーカップ」が伸長し、前年同期比6.0%増の259億7百万円となりました。

飲料部門は、前年同期比2.6%減の164億4千2百万円となりました。

その他部門におきましては、栄養食品は堅調に推移しましたが、冷凍食品

の売上減などにより、前年同期比2.5%減の263億5千7百万円となりました。

なお、中間配当金につきましては、平成19年11月15日開催の取締役会におきまして、前年同期に比して1円増額して1株につき4円とすることに決定いたしました。

当下半年におきましても、個人消費の回復が期待できない中、原油や輸入原材料価格のさらなる上昇も懸念され、明治乳業グループを取り巻く事業環境はこれまでも増して厳しくなるものと予想されます。このような環境下ではありますが、独自の技術力・商品力を活かして世界の食品トップ企業と互角に競争できる食品企業グループを目指し、持続的な企業価値の向上に向けた諸施策を、グループを挙げて推進していく所存であります。

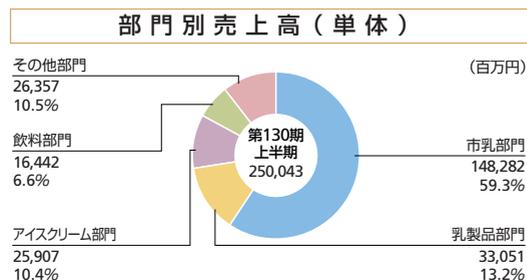
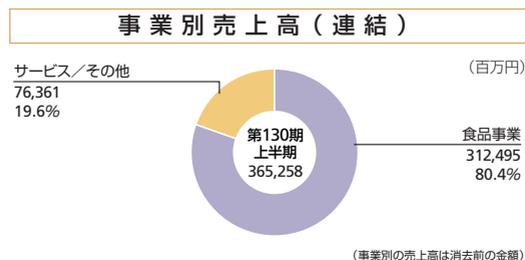
株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



取締役社長

浅野 茂太郎



明治乳業は 創立90周年を迎えます

明治乳業のあゆみ



パトローゲン

1923年

ビタミンを発見した鈴木梅太郎博士の指導の下、(財)糧食研究会が製造・販売した日本初のビタミン入り育児用粉乳です。糧食研究会に参画していた明治乳業の前身が、1932年に同製品の製造・販売権を継承しました。



明治牛乳

1929年

本格的に工業的な生産を開始し、発売することによって、広く乳製品を普及させました。



明治
ハネーヨーグルト

1950年

日本で初めて工業的に生産したヨーグルトです。発売以来50年以上、多くの人に親しまれてきました。



ソフトカールド
明治コナミルク

1951年

日本で初めて、母乳と同様に、タンパク質が赤ちゃんの胃の中で消化しやすい、ソフトカールド化を実現したコナミルクです。



明治
プレーンヨーグルト

1971年

ヨーグルトの本場ブルガリアとの提携によって発売した、日本初の「プレーンヨーグルト」です。1973年に、おなじみの「明治ブルガリアヨーグルト」に改名しました。

アイスクリームの工業生産 ▶ 1921年

極東煉乳三島工場において、日本で最初にアイスクリームの工業生産を開始。その後、同工場に日本初のアメリカ式横型フリーザーとミキサーを導入。

プロセスチーズ製造開始 ▶ 1932年

両国工場にスイスからチーズの製造機械を輸入して設置。勝山工場産のチーズを原料として本格的なプロセスチーズの生産を開始した。日本におけるもっとも早い時期でのプロセスチーズの工業生産であった。

HTST ▶ 1952年

日本で初めて当社が烏山工場に採用したアメリカの殺菌装置。密閉式連続装置であるため衛生的で設置スペースをとらないことから従来の市乳工場の概念を一変させた。

平成19年12月21日をもちまして、明治乳業株式会社は創立90周年を迎えることとなります。

当社は、食品メーカーとして、人が食べることを通じて得られる喜びや健やかさが人間の幸せにつながると考え、何より大切にしてきました。

90年間、日本の社会と食生活は大きく変化しましたが、当社は、いつの時代も変わらず、自然のちからを尊重し、お客様の健康と、おいしさの実現に向け、絶えずチャレンジをし続けてきました。

これからも企業理念《「食」の新しい価値を創造し、お客様の健康で幸せな毎日に貢献する。》を実現する企業として歩んでまいります。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ピッツァ&ピッツァ

1976年

「乳製品の冷凍食品」として位置づけ、当時家庭ではあまり食べられていなかったピッツァを本格発売しました。



明治エッセル
スーパーカップ超バニラ

1994年

スーパープレミアム製造技術によって、それまでの同価格帯のアイスクリームにはなかった、コクと切れ味のいい口どけを実現しました。



VAAM

1995年

運動で体脂肪を燃やすことをサポートする「VAAM」は、一日に約100kmを飛ぶ、驚異的なスタミナを持つスズメバチの生態から学び、その栄養源である17種類の「スズメバチアミノ酸混合液」をモデルに開発されました。



明治プロビオヨーグルト
LG21

2000年

乳酸菌を活用して体に良い作用をもたらすという「プロバイオティクス」の考えに基づき、「LG21乳酸菌」を使用し商品化を実現しました。



明治おいしい牛乳

2002年

独自に開発したナチュラルテイスト製法によって、牧場で飲む牛乳のおいしさを実現した、おいしさで差別化された牛乳です。

二重乳化技術 ▶ 1983年

脂肪球の中に細かい水滴を封じ込め、低脂肪でも高脂肪のような物性や口当たりを世界で初めて実現。またマイクロカプセルとして香料や水分を脂肪球の中に封じ込めることができる等の特長を有する。(特許取得済み)

ESL製造ライン導入 ▶ 1996年

Extended Shelf Lifeの略で製造工程全体を無菌状態に近づけ、パッケージにも雑菌が入りにくい処理をすることで、賞味期限を長くする品質管理技術。本別工場の生クリーム製造ラインに初めて導入された。事業競争力を強化すると同時に、おいしい牛乳など生クリーム以外の商品開発、品質保証に貢献している。

ナチュラルテイスト製法 ▶ 2002年

牛乳中の溶存酸素を予め低減することにより生乳成分の酸化を極力抑え、風味の変化を少なくした(いわゆるコゲ臭を取り除いた)、当社独自の製法。(特許取得済み)

連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	163,484	172,943	155,780
固定資産	241,512	222,848	227,779
資産合計	404,996	395,792	383,560
(負債の部)			
流動負債	195,844	199,149	182,255
固定負債	59,252	52,214	55,260
負債合計	255,096	251,364	237,515
(純資産の部)			
株主資本	141,006	133,096	135,481
資本金	33,646	33,646	33,646
資本剰余金	31,995	31,993	31,993
利益剰余金	75,985	67,903	70,407
自己株式	△ 619	△ 446	△ 566
評価・換算差額等	6,554	8,990	8,272
その他有価証券評価差額金	6,554	8,990	8,272
少数株主持分	2,338	2,340	2,291
純資産合計	149,899	144,427	146,044
負債純資産合計	404,996	395,792	383,560

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	365,258	366,299	702,750
売上原価	262,954	260,056	502,635
売上総利益	102,304	106,242	200,114
販売費及び一般管理費	89,682	90,246	176,517
営業利益	12,621	15,996	23,597
営業外収益	1,107	1,545	2,896
営業外費用	1,032	1,534	3,071
経常利益	12,696	16,007	23,421
特別利益	2,218	3,525	4,799
特別損失	1,136	2,659	6,794
税金等調整前中間(当期)純利益	13,778	16,873	21,426
法人税、住民税及び事業税	5,838	6,594	5,878
法人税等調整額	—	—	1,824
少数株主利益	62	61	15
中間(当期)純利益	7,877	10,218	13,708

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

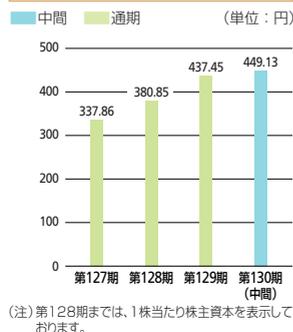
総資産



純資産



1株当たり純資産



中間連結株主資本等変動計算書 当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	33,646	31,993	70,407	△ 566	135,481	8,272	2,291	146,044
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 2,300		△ 2,300			△ 2,300
中間純利益			7,877		7,877			7,877
自己株式の取得				△ 58	△ 58			△ 58
自己株式の処分		1		4	6			6
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 1,717	47	△ 1,670
中間連結会計期間中の変動額合計	—	1	5,577	△ 53	5,525	△ 1,717	47	3,854
平成19年9月30日残高	33,646	31,995	75,985	△ 619	141,006	6,554	2,338	149,899

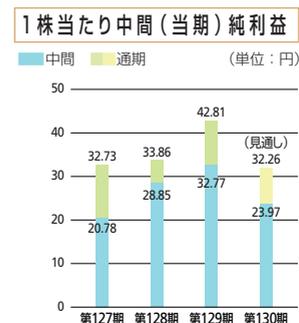
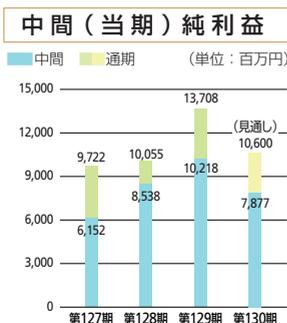
（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前 期 平成18年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,441	23,634	37,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,258	△ 5,456	△ 15,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,253	△ 2,539	△ 11,433
現金及び現金同等物の増加（△減少）額	△ 9,070	15,638	10,242
現金及び現金同等物の期首残高	13,863	3,621	3,621
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	4,793	19,259	13,863

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



単体財務諸表

中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	143,540	134,152	138,197
固定資産	196,380	177,438	183,940
資産合計	339,921	311,591	322,137
（負債の部）			
流動負債	164,351	147,998	153,242
固定負債	47,060	37,207	42,726
負債合計	211,412	185,206	195,969
（純資産の部）			
株主資本	122,472	118,017	118,507
資本金	33,646	33,646	33,646
資本剰余金	31,995	31,993	31,993
利益剰余金	57,450	52,824	53,434
自己株式	△ 619	△ 446	△ 566
評価・換算差額等	6,036	8,367	7,660
その他有価証券評価差額金	6,036	8,367	7,660
純資産合計	128,509	126,384	126,168
負債純資産合計	339,921	311,591	322,137

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	250,043	252,702	481,206
売上原価	176,962	175,722	338,037
売上総利益	73,080	76,979	143,168
販売費及び一般管理費	63,573	64,437	124,897
営業利益	9,506	12,541	18,271
営業外収益	1,211	1,576	2,968
営業外費用	998	1,416	2,865
経常利益	9,719	12,701	18,373
特別利益	1,724	3,409	4,185
特別損失	386	2,048	6,034
税引前中間（当期）純利益	11,056	14,062	16,524
法人税、住民税及び事業税	4,740	6,423	4,728
法人税等調整額	—	—	2,560
中間（当期）純利益	6,316	7,639	9,235

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書（要旨） 当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	
平成19年3月31日残高	33,646	31,993	53,434	△ 566	118,507	7,660	126,168
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 2,300		△ 2,300		△ 2,300
中間純利益			6,316		6,316		6,316
自己株式の取得				△ 58	△ 58		△ 58
自己株式の処分		1		4	6		6
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）						△ 1,623	△ 1,623
中間会計期間中の変動額合計	—	1	4,016	△ 53	3,964	△ 1,623	2,341
平成19年9月30日残高	33,646	31,995	57,450	△ 619	122,472	6,036	128,509

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

新製品のご紹介

市乳

明治ブルガリアヨーグルトLB81 そのままプレーン (500g)



「明治ブルガリア」ブランドから、「そのまま食べておいしいプレーンヨーグルト」というまったく新しいコンセプトの商品が新登場。当社独自の「LB81乳酸菌」「まろやか丹念発酵」「NF膜処理技術」を組み合わせ、まろやかな風味となめらかな食感を実現しております。何も加えず、是非「そのまま」お召し上がりください。

明治おいしい牛乳 125ml×3



1回当たりの飲用量が少ない高齢者や幼児をターゲットとした、飲みきりサイズの「明治おいしい牛乳」の3個パックです。飲みやすさ、扱いやすさを考慮し、パッケージやストローに工夫を施したユニバーサルデザインを採用しております。

アイスクリーム



明治エッセルスーパーカップりんご

明治エッセルならではのココのあるベースアイスに、秋冬フルーツの定番「りんご」の果汁をミックスしました。風味豊かなりんごの味わいを乳のコクと一緒においしく楽しめます。



明治北海道十勝ミルクソフト

発売15周年を迎えた明治乳業の主力ブランド「明治北海道十勝」シリーズにミニソフトマルチアイスが仲間入りしました。おいしさへのこだわりをココのあるクリーミーな味わいで表現しました。

チーズ



明治北海道十勝スライスチーズ ブラックペッパー入り (10枚)

「明治北海道十勝スライスチーズブラックペッパー入り(10枚)」は、色々な素材と相性の良い香味豊かな粗挽きブラックペッパーを配合。様々なメニューにお使いいただくことができ、お料理の幅が広がります。



明治クリームチーズMilko (ミルコ)

明治クリームチーズMilko(ミルコ)はミルクのコクとなめらかな口どけが特長のクリームチーズです。ぬるタイプとポーションタイプの2種類を新発売。

冷凍食品



手軽にピッツァマルゲリータ

イタリアンレストランでも人気のマルゲリータタイプのピッツァがレンジ調理で手軽に味わえます。完熟トマトとバジルソースの香り、チーズのおいしさが楽しめます。



海老グラタン1個入

良質な素材をふんだんに使用して仕上げた、濃厚でクリーミーなホワイトソースが醸し出す、深い味わいの海老グラタンが新登場です。

コナミルク

明治ほほえみ らくらくキューブ



「明治ほほえみ らくらくキューブ」は、「明治ほほえみ」をそのまま圧縮成型、加湿、乾燥して固形状にした、世界初のキューブタイプの乳児用コナミルクです。固めるための添加物は使用していません。哺乳びんに必要な個数のキューブを入れるだけなので、「こぼれる」「汚れる」「すりきりが面倒」といった従来のコナミルクに対する不満が解消し、使い勝手がより向上しています。キューブ1個(5.4g)で40ml作れます。

栄養食品

ヴァームウォーターパウダータイプ



スズメバチの驚異のスタミナを研究することにより解明された独自バランスの17種類のアミノ酸素材V.A.A.M.を1500mg配合。運動中の喉が乾いた時に手軽に水に溶かして飲むことで、運動時の体脂肪燃焼をサポートし、発汗で失われがちな水分と電解質を簡単に補給できます。気になるカロリーも19kcal/袋。500mlの水に溶かす粉末スティックタイプです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載アドレス http://www.meinyu.co.jp/

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル ☎0120-244-479 で24時間承っておりますので、ご利用ください。

ホームページのご案内

<http://www.meinyu.co.jp/>

明治乳業のホームページでは、企業情報や商品情報などをはじめ、研究開発、環境・社会活動など様々な情報を掲載しております。

詳細な決算情報につきましては、IR情報からご覧いただけます。



この報告書は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と大豆油インキを使用しています。

健康って、おいしい。

MEIJI

明治乳業

「そのまままで」おいしい
プレーンヨーグルト、誕生。



明治ブルガリアヨーグルト LB81

新登場

そのまままで

プレーンヨーグルトの新しい食べ方の提案。

「そのまままで」おいしいプレーンヨーグルト。

それは明治乳業が35年という長い年月で培ってきた

知識と技術力によるものです。

「明治ブルガリアヨーグルトLB81そのまままで」
なにも加えず、「そのまままで」お召し上がり下さい。